

2026年度 授業計画（シラバス） 日本コンピュータ専門学校

学科名	学年	授業のタイトル（科目名）	
工業専門課程デジタルクリエイター科	1	実践演習Ⅰ	
授業の種類	授業担当者	実務経験	
<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> 実習	神田武士	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
【実務経験歴】			
カワイ音楽教室のギター講師グレード資格を取得 2023年度 大分県民文化祭に大阪より演奏で出演 USJ『Thanks Love Month2025』 XEXPO2025 コラボイベントにギターで参加 その他TVCM、Free BGM楽曲参加、慰問演奏、イベントなどにも出演			
単位数（授業の回数）	時間数	配当時期	必修・選択
4 単位 (60 回)	120 時間	<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input checked="" type="checkbox"/> 通年	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択
【授業の目的・ねらい】			
①表現力の向上 ②実演演出の基礎理解 ③アンサンブル力と即応力の強化 ④自己表現と主体性の確立			
【授業全体の内容の概要】			
①フレーズやダイナミクス、音色の工夫などを通して、聴き手に伝わる演奏表現を学ぶ。 ②ステージ上での立ち振る舞いやMC、曲順構成など、効果的な演出方法の基礎を理解する。 ③他者との演奏を通して協調性を養うとともに、セッションやライブにおける即応力を身につける。 ④自ら演出プランを考え、実践することで、主体的にステージを構成し自己表現する力を養う。			
【授業終了時の達成課題(到達目標)】			
実演演習の行程をしっかりと理解して頂く			
【準備学習の具体的な内容】			
毎授業ごとに必ず簡単な復習を行い次回に繋げる			
【使用テキスト】		【単位認定の方法及び評価の基準】	
使用テキスト		定期試験と出席日数の両方が次の規定に達した場合に認定する。	
参考文献		・試験の点数は60点以上を合格点とする。 ・全出席日数の4分の3以上の出席が必要。 評価基準	
必要に応じて授業の中で紹介する。		定期試験80%、平常点（出席、講義の参加度）20%とする。	
【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】			
1回	ガイダンス・楽器の扱い方		
2回	姿勢とフォーム		
3回	右手の基礎		
4回	左手の基礎		
5回	開放弦練習		

6回	音符の読み方（ドレミ）
7回	指板の音の位置
8回	リズム基礎
9回	簡単な譜面読解
10回	初見演奏入門
11回	チューニングと音作り
12回	録音の基礎知識
13回	実際に録音してみる
14回	自分の演奏を聴く
15回	まとめ振り返り
16回	簡単な曲に挑戦
17回	通し演奏
18回	表現（強弱）
19回	録音して仕上げる
20回	ミニ発表
21回	スケールの意味
22回	アルペジオ応用
23回	コード構造
24回	指の独立
25回	音色コントロール
26回	表現を譜面から読む
27回	リズム応用
28回	運指設計
29回	初見強化
30回	まとめ振り返り
31回	ProToolsにてカット・編集
32回	タイミング修正（グリッド）
33回	テイク管理
34回	コンピング（良いテイクを繋ぐ）
35回	簡単なミックス
36回	他者と合わせる
37回	呼吸とタイミング
38回	ボーカルとギターのリコーディング
39回	MIX実習1
40回	MIX実習2
41回	Pro Toolsで波形を読む（視覚的分析）
42回	タイミングのズレを分析
43回	音量バランスの問題点抽出
44回	ノイズ・ミスの特定
45回	まとめ振り返り

46回	問題箇所の修正（編集）
47回	再録音①（改善意識）
48回	再録音②（表現改善）
49回	ビフォー／アフター比較
50回	改善レポート作成
51回	自分の演奏を言語化
52回	他者の作品を分析
53回	ミックスの違いを比較
54回	良い音源の研究
55回	自分の課題整理
56回	最終作品の再分析
57回	成長の可視化（初回との比較）
58回	最終発表①（演奏＋解説）
59回	最終発表②（フィードバック）
60回	まとめ振り返り